＜認知症対応型共同生活介護用＞

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	11
1．理念の共有	2
2．地域との支えあい	1
3．理念を実践するための制度の理解と活用	3
4．理念を実践するための体制	3
5．人材の育成と支援	2
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1．一人ひとりの把握	1
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1．その人らしい暮らしの支援	9
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人　桜城会
事業所名	グループホーム友愛
訪問調査日	平成　20　年　2　月　18　日
評価確定日	平成　20　年　3　月　27　日
評価機関名	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家　族 ＝家族に限定しています。

運営者 ＝事業所の経営･運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム ＝管理者･職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日　平成20年3月27日

【評価実施概要】

事業所番号	1473400487
法人名	医療法人　桜城会
事業所名	グループホーム友愛
所在地	神奈川県横浜市瀬谷区橋戸3-54-9 （電　話）045-304-5690

評価機関名	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成20年2月18日	評価確定日	平成20年3月27日

【情報提供票より】（平成19年12月10日事業所記入）

(1) 組織概要

開設年月日	平成　16　年　8　月　1 日	
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計　9　人
職員数	11　人	常勤　9　人，非常勤　1　人，常勤換算　9　人

(2) 建物概要

建物構造	木造コンクリート造り
	2 階建ての　1 階　～　2階　部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃（平均月額）	49,000 円		その他の経費（月額）	円
敷　金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有（　240,000　円）		有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	300　円	昼食	300　円
	夕食	300　円	おやつ	100　円
	または1日当たり　1,000　円			

(4) 利用者の概要（平成19年12月10日現在）

利用者人数		9 名	男性	5 名	女性　4 名
要介護1		3　名	要介護2	4　名	
要介護3		1　名	要介護4	1　名	
要介護5		0　名	要支援2	0　名	
年齢	平均	73.8 歳	最低	59 歳	最高　81 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	横浜甦生病院、友愛歯科クリニック

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

◆理念に掲げている「家庭的な雰囲気と、利用者の人格を尊重し自立を支援する」を、職員に徹底し、起床、食事、入浴から余暇の過ごし方まで、利用者の人格の尊重と自立への支援を日常生活の中で実践している。
◆近隣に幼稚園、公園、コンビニエンスストアー等があり、散歩に出かけたり、食材の調達に利用者が同行して好みのものを購入している。月に1回の回転寿司等の外食や、年に1回は市内外まで家族も参加して遠出をするなど、外出機会を確保している。
◆自治会と老人会に加入しており、町内の盆踊りや夏祭り等への参加も利用者の楽しみになっており、利用者の中には老人会が主催する「誕生会」や「お誘い会」に出席するなど、積極的に地域と交流をしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4） 前回の外部評価を受けて、献立メニューの記録をもとに瀬谷区福祉保健センターの栄養士による助言を受け、家族の苦情や意見等の聴取方法を工夫し、玄関に「ご意見箱」を設置し、預かり金について利用者別に出納帳を設けて家族の来所時に報告するなどの取り組みをしている。 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） 職員に外部評価の意義と目的を周知し、今回の自己評価では、管理者が記入した結果を職員に回覧し、意見を反映してとりまとめた。外部評価を職員の教育と、サービスの質の向上の機会として捉え、職員に評価結果を通知し、玄関に掲示して家族等にも結果を公表している。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6） 昨年度開催した第1回の運営推進会議は、行政の指導で地域ケアプラザに近隣の10事業所が集まり、地域の区長、民生委員、区の職員や管理者と職員が参加して合同で開催した。平成20年からは2ヶ月ごとに開催し、事業所が抱える課題の検討を予定している。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8） 家族からの苦情や意見は、家族の来所時直接面接して伺うことが多く、直ちに職員と内容を検討して対応している。昨年、新たに玄関に「ご意見箱」を設置したが、これまでに利用はなく、口頭による申し入れが大部分である。家族の提案を採用した例としては、職員の名前を覚えやすいように、胸に名札を付けたことが挙げられる。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） 自治会と老人会に加入しており、利用者の一部が老人会が主催する「誕生会」などの会合に参加して交流を深めている。回覧版や近隣の商店からの情報を得て、利用者が地域の盆踊りや夏祭りなどの行事に参加している。管理者が地域の防災訓練に参加する機会を捉えて、災害時には事業所への協力を要請している。

2. 評価結果(詳細)

(▭ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所を開設した平成16年に「家庭的な雰囲気と利用者の人格を尊重し自立を支援する」との理念を制定し、その実現に努めている。自治会や老人会に加入するなど、地域の中で住民との交流にも取り組んでいる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員が理念を共有して介護サービスに取り組んでおり、起床・就寝時間や食事・入浴時間の自由度、また余暇の過ごし方にも、利用者の意思を最大限に尊重した支援をしている。また、理念にある「自立を支援する介護」の結果、排泄介助が不要になり、介護度が軽減した例もある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会と老人会に加入しており、老人会主催の「誕生会」や「お誘い会」に、3～4名の利用者が参加している。地域で開催される盆踊りや夏祭り、また近くの幼稚園への訪問が利用者の楽しみの一つになっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票は管理者が素案を作り、職員に回覧して意見を入れて取りまとめた。職員は、自己評価・外部評価が事業所のサービスの質の向上に資する事を認識して、業務の改善に活用している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	第1回の運営推進委員会は、瀬谷区の指導で近隣の10事業所が地域ケアプラザを利用して合同で開催した。会議には、地区の区長、民生委員、区の職員、当事業所から管理者と職員が参加した。初回の会合だったため、各事業所の現状を報告するに留まったが、平成20年からは2ヶ月ごとに開催して、議論を深めていく予定である。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月1回は、区のサービス課等を訪ねて、利用者の健康面や生活面等について相談をしている。		
4．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問する機会を利用して利用者の現況や、預り金の管理状況などを伝えている。来られない方には、費用の請求時に報告している。職員の異動は少ないが、異動時には、家族に経過を説明して了承してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの要望や相談は、直接口頭により受けている。家族からの要望により、家族の意見を入れ職員名札を胸に付けることにした。前回の外部評価を受けて、「ご意見箱」を設置したが、これまで利用されたことはない。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	過去に、出産や自己都合等で退職があった際には、利用者と一緒に花束を贈り、今後の活躍を祝福した。離職を防ぐために、職員が働きやすい就労環境づくりに努めている。		
5．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員には、初任者研修を実施後、業務を実際に進める中で管理職から指導･助言（OJT）をしている。現任職員は、区や神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会等が主催の研修会に、その都度派遣している。受講者は研修の報告書を作成し、職員に回覧して、全体の資質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	瀬谷区と旭区が、2ヶ月ごとにグループホーム20事業所を対象にした合同会議に、管理者と職員が参加する機会を捉えて、近隣の同業者と情報交換している。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室に空きがある時には、入居希望者に数日体験入居してもらったこともある。新たに入居した利用者には、アセスメントの結果から本人の経歴･趣味を把握して、職員と共同で作業したり、散歩や買物の機会に事業所の雰囲気や、以前から入居している利用者に馴染んでもらうようにしている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念にある「利用者の尊厳と自立支援」を踏まえ、本人の能力や興味に応じて、食事の準備や後片付け、掃除、衣類の整理を職員と一緒にしている。料理の味付けなどを、主婦の経験が長い利用者から教えてもらうことが多い。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを基に、毎朝バイタルチェックの時などを活用して、利用者の希望や思いを聞きだしている。大まかな日程スケジュールはあるが、起床･食事･入浴時間などには、本人のこれまでの生活習慣を尊重して対応している。タバコを嗜む方には、玄関に専用の場所を確保している。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	最初の介護計画には、アセスメントの結果に、本人と家族の意向を取り入れ、以降は、計画作成担当者が、主に利用者の生活状況と職員の意見等を反映して作成している。家族からの意見が聞けない方や、特定の疾患のある方の場合は、区の職員や医師に相談している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、基本的には3ヶ月ごとであるが、安定している利用者の場合は6ヶ月ごとに行っている。しかし、体調の変化や入院等で状況が変わった場合は、その都度関係者が話し合って介護計画を改定している。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3．多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が来られない方、特定疾患のある方の場合は、管理者が通院に同行している。		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関から月2回の往診があり、協力歯科医療機関から毎週1回の訪問診療がある。利用者の希望により、入居前からのかかりつけ医を利用している方もいる。定期健康診断は、2年に1回受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては、ハード面での制約があり、対応は困難と考えているが、家族のいない方もおり、今後の検討課題と認識している。入居者が重度化した場合の対応については、具体的な状況に応じて職員研修を実施している。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1．その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人のプライバシーを確保すること、尊厳を守ることは、入職時の研修で徹底している。利用者の尊厳に十分配意した上で、利用者に親しみを込めた呼びかけをすることもある。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴、外出時間など、一日のおおよそのスケジュールは決まっているが、余暇の過ごし方などあらゆる面で本人の意志を尊重している。例として、朝の起床時間に声かけはするが状況に応じて対応し、食事時間も本人のペースに合わせるなどしている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは、毎日利用者の希望を入れて決めている。食材の調達には利用者が同行して好みのものを買うようにしている。月に1度、回転寿司など外食に出かけることが、利用者の楽しみになっている。利用者と一緒に、おはぎ等のおやつ、ぬか味噌漬けを作ることもある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的には1日置きの午後であるが、それ以外に、利用者の希望に応じて、夜間に入ってもらうこともある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で、本人の趣味や特技、楽しみごとを聞きだし、支援するようにしている。夏場のヘチマやひょうたん作り、プランターでの植栽、手芸のほか、絵の上手な利用者の作品を居間に飾り、映画が好きでビデオを収集している方もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩には、おおむね毎日交代で出かけており、買い物を兼ねての外出もある。年に1度は、江の島や鎌倉、横浜市内の動物園などに家族も参加して遠出をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	部屋に鍵は設けず、夜間以外は玄関も施錠していない。鍵をかけないケアに取り組んでいる。玄関のドアは、開けるとチャイムが鳴るようにして、職員が気付くようにしている。利用者の安全対策として、近隣や警察に平素協力を要請している。また、帰宅願望が強い方には、職員が同行して近隣を歩くなどして、無理に連れ戻すことはしないようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災実地訓練を実施している。消火器は1階の台所と玄関に設置している。近隣には緊急時の協力支援を依頼している。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のメニューを横浜市瀬谷福祉保健センターに提出して、栄養士に点検してもらいアドバイスを受けている。水分と塩分の摂取量には特に配慮している。摂食量と水分量は、チェック表に記録して確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間と台所は隣り合わせで、利用者同士、また、職員と会話が楽しめ、居室よりも居間で過ごす時間が多い。長時間座っていても疲れない肘掛け付きの椅子を使用し、居心地良く過ごせるように配慮している。居間には、カレンダーや絵画を掲示したり、落ち着いた雰囲気がある。タバコを吸う方は、灰皿と空気清浄機がある玄関脇の専用の場所を使用している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の好みに応じて、ベッドや畳敷きが選択できる。畳の居室で、これまでの習慣から毎日布団を上げている方もいる。馴染みの品物の持ち込みを奨励しており、タンスや仏壇、額、テレビなどが置かれている。各居室にエアコンを取り付けており、温度調節は主に職員が行っている。		

自己評価票

○ 自己評価は全部で100項目あります。
○ これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
○ 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のIIやIII等）から始めて下さい。
○ 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

○ 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ．理念に基づく運営	22
1．理念の共有	3
2．地域との支えあい	3
3．理念を実践するための制度の理解と活用	5
4．理念を実践するための体制	7
5．人材の育成と支援	4
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1．一人ひとりの把握	3
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3．多機能性を活かした柔軟な支援	1
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1．その人らしい暮らしの支援	30
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ．サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

［取り組みの事実］
ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

［取り組んでいきたい項目］
今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

［取り組んでいきたい内容］
「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

［特に力を入れている点・アピールしたい点］（アウトカム項目の後にある欄です）
日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム友愛
（ユニット名）	
所在地（県・市町村名）	神奈川県横浜市瀬谷区橋戸3-54-9
記入者名（管理者）	古指祐次
記入日	平成19　年　12月　30日

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	私達は家庭的な雰囲気と人格を尊重し自立のお手伝いをするを理念とし安全と健康な暮らしが出来るよう日々励んでいる。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、食堂、事務所目のつく所に掲示しいつでも誰にも理解されるよう共有している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族の方や面会者がこられた時誰にも見える所に掲示している。勿論入居時に説明もしている。		
2．地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の行事やお祭りには積極的に参加しグループホームの役割や利用方法を説明したり立ち寄りのあさそいをしている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会お誘い会等地域の行事に積極的に参加している。お祭りや盆踊りにも参加し少しでもGHの存在をアピールしている。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	**○事業所の力を活かした地域貢献** **利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる**		○	公園の周りを散歩したり遊んだりしているが状況に応じて草取りや掃除で協力したい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	**○評価の意義の理解と活用** **運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる**	外部評価表をいつでも誰でも見える所において常に閲覧できる状態にし改善に取り組んでいる		
8	**○運営推進会議を活かした取り組み** **運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている**	第一回の運営推進会議を開催し職員入居者の活発な意見が出ませんでした。今後2ヶ月に1度開催し意見が出やすい会議にしたい。	○	職員入居者との硬くない形式でコミュニケーションを図り風とうしの良い会議にしたい
9	**○市町村との連携** **事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる**	サービス課と保護課には月に1．2度訪問し現況の担当者と健康状況や入院状況を報告し円滑なサービス向上を図っている		
10	**○権利擁護に関する制度の理解と活用** **管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している**		○	今後研修や勉強会があれば出席したい
11	**○虐待の防止の徹底** **管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている**	新人教育時には必ず指導し参考資料を見やすいところに置自由な時間に閲覧できる		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4．理念を実践するための体制				
12	**○契約に関する説明と納得** **契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている**	契約時その旨努めて説明している。不明な点はいつでも気軽に声をかけてい頂くようお願いしている。		
13	**○運営に関する利用者意見の反映** **利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	職員や入居者をとうして不満や苦情を聞き即ケアプランにまで反映させるようしている		
14	**○家族等への報告** **事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている**	GHと他の事業の異動はないため家族には説明していないが職員の退職時には挨拶や個々に説明している。		
15	**○運営に関する家族等意見の反映** **家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている**	家族の方が見えた時その都度聞きできることはすぐ実行するよう努めている		
16	**○運営に関する職員意見の反映** **運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている**	ほとんど毎日顔をあわせているので改めて聞くというより提案が出やすい環境にしている。(特に購入等の金銭の関係しての要望)		
17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** **利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている**	シフト決定前に事前に各人の来月の休暇予定を要望書に記し曜日休日を検討し調整している。又緊急時には別途その都度各人と調整している。		
18	**○職員の異動等による影響への配慮** **運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている**	事業所の移動は無く過去に出産や家事都合で退職された場合は挨拶や引継ぎ等して頂きダメージがないよう努めた。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	**○職員を育てる取り組み** **運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている**	年間のスケジュールを決め特に新人教育に努めている。区や市で行う講習会とうにも積極的に参加している		
20	**○同業者との交流を通じた向上** **運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている**	旭区瀬谷区ＧＨ合同会議等知り合った方と交流し行事の時情報交換や、入居状況やストレス解消等の交流をしている。		
21	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** **運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる**	慰労会を2，3回もうけている。又月に一度食事会を行っている。		
22	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** **運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている**	勤務状況は常に把握し各人が常に向上心と自己啓発を忘れぬよう指導する。そのために資格等積極的に取得するよう指導している		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	**○初期に築く本人との信頼関係** **相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	ホームでの生活に早く慣れるよう本人の性格や今までの生活リズムを聞きだすよう話しやすいように居室や個人的な散歩に誘い聞き出している		
24	**○初期に築く家族との信頼関係** **相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている**	お互いに理解するため体験入所して頂いた		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お互いに理解するため体験入所して頂いた		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お互いに理解するため体験入所して頂いた		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	徘徊の方と共に歩き帰るまで行動をしたり、言語障害のある方の言わんとする事のよう目や身振りや動作でその人がなにをして欲しいか理解するまでよく聞く		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	上記のような出来事を報告している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時本人は誰だか理解してない時思い出すよう説明してあげたり先にだれだれさんがきました。とか、説明を先にしてあげる。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	宗教やその集会などに参加させて今までのリズムや生活習慣を変えないよう努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士気の会いそうな方が居室などで雑談をしている。また好きなテレビ番組など誘って見るようしたり、昔話や好きなことを雑談していただいている		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	前例なしであるがそのようにしていきたい。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員や入居者をとうして一人での時間や買い物の時間、入浴や食事時間を確認し出来るだけ本人の希望を取り入れている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人に趣味や余暇の話と同時に聞くようにし過去の生活を大切にしながら対応している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	朝のバイタル時に1人1人声掛けし様子を見たりヒヤリングしたりして、その日の精神状態や健康状態を把握している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	計画担当者と職員本人に相談している。また特に変化があった場合はその日の様子を業務日記に記すようし計画に取り入れている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	特に定期的以外に入院し帰ってきた時など激しく人格が変わる事があるので、そのような時は状況に応じた計画を作成し直す		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常にケアする人と計画作成担当者の接点が日々の業務日誌であるよう記入者は明確に記すようし作成者はそれを共有し計画に生かしている		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病気などの時は家族に連絡し通院入院等柔軟な支援をしている		
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の警察には特に連絡を取り合い徘徊などの時には大変な協力を頂いている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今のところそのような支援はしていない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今現在そのような必要性が無いため協働していない		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	横浜甦生病院、友愛歯科クリニックと協力契約を締結し訪問診療をしていただいている		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	横浜甦生病院等協力契約を締結し月に2回往診して頂きそのような)時間がある、又必要時には相談も頂いている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師には必要に応じいつでも相談や医師との連絡を取り次いでいただき健康管理の支援で気安い状態になっている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院の相談員と連絡を取り合い退院状況や退院後の相談をし利用者さんが安心できる状態を確認している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人及び家族に確認している段階であるがまだ現実にはそのような状況でないためあまり進んではいない		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	出来るだけ本人のストレスをためないよう努め医師に相談している		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	前例なし	○	そのような場合はすべての情報提供する

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	**○プライバシーの確保の徹底** **一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない**	理念にも掲げてあるように人格を尊重することが基本となって行動している		
51	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** **本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている**	全てのことが出来るわけではないが、いいたい事や希望を自由に言える環境にしている。		
52	**○日々のその人らしい暮らし** **職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している**	全て希望どうりではないが個人を優先した日特に外出などはそうした支援にしている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	**○身だしなみやおしゃれの支援** **その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている**	2ヶ月1度理容師さんに訪問していただき本人に希望を聴いてその好みに応じた身だしなみにしている		
54	**○食事を楽しむことのできる支援** **食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている**	買出し、メニューや好きなものを聞きながら食事を作っている。力のある方には皮むきや他の作業も職員と準備している		
55	**○本人の嗜好の支援** **本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している**	喫煙者には決められた場所で喫煙していただいている		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	徐々に紙パンツが増えていくのが現実であるが、なるべく少なくしている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1人で入浴可能なかたはおよその時間を決め自分のリズムに合わせていただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	時間も居室にて自由に自分で作れる状態にし居易い環境を心がけている		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	プランターの手入れや手芸趣味の方それぞれのかたに応じた取り組みや支援をしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物についていき可能な方には今まで購入したとうりにしていただく。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物にはほぼ毎日交代でいっている。マンネリ防止のため個人の好きな所に行く外出を考えている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個人のリクエストで好きな所に1人で付き添いも1人の外出も検討中です。		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	**○電話や手紙の支援** **家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている**	手紙は余り好きな方がいないようですが年賀状は出来るだけ本人に書いていた抱きだすよう荷しています		
64	**○家族や馴染みの人の訪問支援** **家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している**	近所の方も遊びに来て居室で過ごされている。声さえ掛けてくれればいつでも結構です。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	**○身体拘束をしないケアの実践** **運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる**	前例なしであるがそのよう指導している		
66	**○鍵をかけないケアの実践** **運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる**	全ての居室に鍵は無く夜以外は玄関のかぎも掛けない		
67	**○利用者の安全確認** **職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している**	常に利用者の所在を把握し夜は巡回を2回実施している		
68	**○注意の必要な物品の保管・管理** **注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている**	カミソリ等は電気に変えたり置き場所を変えたりして安全を保っている		
69	**○事故防止のための取り組み** **転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる**	転倒しやすい方の居室を変えたりして把握しやすい状態にした。火災防止のため喫煙場所の1箇所に決めている		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	**○急変や事故発生時の備え** **利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている**	緊急連絡網と緊急に備えての書籍購入により講習し知識の共有を図っている		
71	**○災害対策** **火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている**	地域の防火訓練、救命の研修に参加。近隣の方には火災時の応援依頼済み		
72	**○リスク対応に関する家族等との話し合い** **一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている**	現実な話し合いはしていない。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	**○体調変化の早期発見と対応** **一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている**	バイタルチェックの状況にて異変者を把握し状況を見て、病院や場合によっては入院の処置をとる		
74	**○服薬支援** **職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている**	薬の効能の注意書きを薬の管理と一緒にし常に自己啓発とし勉強している		
75	**○便秘の予防と対応** **職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる**	薬のみに頼らず散歩や運動に努めている		
76	**○口腔内の清潔保持** **口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている**	食後の歯磨きを声掛けし出来ない方には応援している		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容･実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	基本的な栄養摂取の目安を献立表の目立つ所に置き水分や塩分に注意した食事にしている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	毎年予防接種をし、外出後手洗い場所に手洗いの手引きを記し誰にも実行できるよう掲示してある。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾まな板等は定期的に消毒し衛生に心がけている		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出来るだけ玄関や花壇の草花も手入れや草取りを入居者さんに管理していただいている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に花や季節感のある物を置いている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂及び居間にはソファーを置き雑談できるようにしている		

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	極力今まで使用していた日用品を持参していただいている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	時間を決め定期的に換気している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行訓練や自力で運動しやすいよう手すりをつけリハビリを兼ねた散歩が出来るようにした		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ポータブルトイレを利用したりして失敗を防いでいる		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	出来る方にはベランダで洗濯干しなど手伝っていただいている		

Ｖ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
		○	③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的雰囲気を理念に掲げ実際私の父が母であったらこうする。こうしてあげたいを実行する。